

海員組合門司、戸畑、三池各支部在港船員大會

北九州港湾地帯に於て海友俱樂部支部が或はヒラに或は船員大會等に依つて海員組合を攻撃し自派勢力の擴大に努めつつあるに對し、海員組合にありても門司、戸畑、三池各支部に於て夫々次の如く船員大會を開催し抗爭的態度に出で新組合派を分裂主義者として排撃し、兩者の鬭争漸次激化せんとするの狀態である。

一、海員組合門司支部主催門在港船員大會

1、日時 昭和十年五月十八日 午後八時

2、會場 門司市祝町 門司支部

3、出席者 支部長外支部幹部並に在港汽船九隻代表五十五名

4、開會の辭 司會者 坂本正道

資本家の一部と握手し、労働階級を裏切つた分裂主義者たる海友俱樂部一派紛碎の爲敢然闘はねばならぬ。

5、大會狀況報告 支部長 飯島林次郎

年次大會の狀況並に組合内紛發生以來の經過を述べて、新組合は赤崎との關係ある石原産業所屬船の一分子であつて、組合員の船内積立を強要し之れを革正運動に費消した糊塗策に新組合を組織せんとするもので、彼等革正派の主張したる分裂絶對反對のスローガン自ら破り労働階級を資本家に賣り付けんとするのである。

6、緊急動議に依り茶話會を大會に引直し別紙決議文を決定し、之れを本部に送り新組合の撲滅と待迤改善運動に邁進すべく幹部を鞭撻することとなつた。爾ち議長に支部長飯島林次郎を推し、司會者右決議文を朗讀之れを電報にて本部に送るところを決定したのである。

二、戸畑支部茶話會並に在港船員大會